

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：警察費 項：警察活動費 目：一般警察活動費

事業名 警察教養費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 警務部 教養課 電話番号：058-271-2424 (内 2712)

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 8,233 千円 (前年度予算額：15,808 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	15,808	1,968	0	0	0	0	0	0	13,840
要求額	8,233	1,994	0	0	0	0	0	0	6,239
決定額	6,508	1,994	0	0	0	0	0	0	4,514

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

職責を自覚し、職務倫理を保持しつつ適正に職務を遂行することができる人材を育成するためには、職場・学校教養は不可欠である。また、大量退職期の中にあり組織の世代交代が急速に進む中、近年増加傾向にある公務執行妨害や持凶器犯罪等の凶悪犯罪に対する現場対応力の低下が懸念されていることから、県民の安全な生活を守るため、術科教養を始めとする各種教養の充実により女性や若手警察官の現場執行力の強化を図る必要がある。

(2) 事業内容

- ・ 警察職員に対する職場・学校教養の実施
- ・ 警察官の術科訓練及び各種術科大会への参加
- ・ **新**警察学校等への気化放熱式冷風機の整備

(3) 県負担・補助率の考え方

警察職員の各種教養訓練に要する負担であり、警察力の強化が県民の安全・安心につながることで、国庫補助対象事業については他の対象事業と同様の割合で国庫を充当しており、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	3,843	術科訓練・大会用消耗品、教養資料の作成
役務費	1,240	術科大会会場設営・撤収手数料、入校時・拳銃特別訓練員等健康診断料、射撃場環境測定料
使用料及び 賃借料	623	術科大会会場使用料、多治見警察署代替道場借上
備品購入費	1,725	匳気化放熱式冷風機の整備
その他	802	部外講師謝金、部外競技大会参加料
合計	8,233	

決定額の考え方

気化放熱式冷風機は他施設の整備状況を勘案し、計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

Ⅱ-2-(2)-③ 犯罪・交通事故防止の推進

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
警察職員に対する各種教養は、職員個々が民主警察の本質と責務を自覚し、職務倫理を保持しつつ適正な職務能力（現場執行力）を修得するために不可欠であり、反復継続の必要がある。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業 開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
警察逮捕術大会参加者数	/ (H)	280人 (H29)	400人 (H30)	0人 (R元)	/ (H)	%
警察柔道・剣道大会参加者数	/ (H)	780人 (H29)	670人 (H30)	600人 (R元)	/ (H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

現場における適正な判断、技能・技術の修得を目的とした教養であり、教養効果・実績を数字で表せないため、目標を設定することは困難である。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 (1) 部外講師による職務倫理及び専科教養の実施
 （警察学校、所属にて随時）
 (2) 術科大会の開催
 岐阜県警察柔道・剣道大会、岐阜県警察拳銃射撃競技大会、岐阜県警察逮捕術大会については、新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ、中止とした。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 大量退職、大量採用期の中にあり、特に若手警察官を対象に各種訓練、職務倫理教養を実施して現場執行力の強化を図っている。今後、これら若手警察官が「安全・安心な「清流の国ぎふ」づくり」を具現化する主力を担っていくこととなる。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	県民の期待と信頼に応える精強な警察づくりにつながるため、事業の必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	指標として表すことはできないが、職員個々への浸透度合いなどから事業効果は現れている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	専科教養をはじめとして、スクラップ&ビルドの視点で見直しを行い、効果的かつ効率的な教養の実施を図っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>若手警察官に早期に現場執行力を身につけさせるため、警察教養の更なる充実強化を図る必要がある。特に女性警察官に関しては、今後登用拡大の施策が進められ、逮捕術等による実戦的な訓練の更なる充実強化が急務となっている。</p>

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>警察教養の更なる充実強化、全警察職員への浸透を図る教養の実施を徹底していく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	

